

インベスターズガイド

山洋電気株式会社 (6516)

目次

1. 基本情報
2. 事業内容
3. サステナビリティ
4. Appendix

1. 基本情報

- 会社概要
- 企業理念
- 当社のあゆみ

会社概要

- 社名：山洋電気株式会社
- 創業：1927年8月
- 資本金：99億円（2025年3月31日現在）
- 本社所在地：東京都豊島区南大塚3-33-1
- 社員数：3,646名（連結/2025年3月31日現在）
- 事業内容：冷却ファン、無停電電源装置（UPS）

太陽光発電システム用パワーコンディショナー

サーボモータ、ステッピングモータ、アンプ、ドライバ等の製造販売



代表取締役会長
山本茂生



代表取締役社長
児玉展全

企業理念

私たち山洋電気グループは、すべての人々の幸せをめざし、人々とともに夢を実現します。

すべてのステークホルダーとの双方向の対話を積極的におこない、強固なパートナーシップを築き上げることを当社グループの経営における重要かつ不可欠なものと位置づけています。ステークホルダーのみなさまと共栄共存をめざし、社会課題の解決につながる新しい価値創造にむけて努力してまいります。

社会や環境に対しては、
企業活動を通じて、地球環境の保全
および人類の繁栄に寄与する経営を
します。

協力会社や取引会社に対しては、
部品材料の取り引き、製造委託、
共同開発を通じて、相互の技術の
発展と共存共栄を目指す経営をします。

同業者や競争会社に対しては、
技術提携や競争を通じて、
産業の発展と技術の発展を共創する
経営をします。

お客さまやユーザーに対しては、
技術、製品、サービスを通じて、
お客さまやユーザーにとっての、
新たな価値の創造が実現できる経営を
します。

投資家や金融機関に対しては、
健全かつ発展的な経営と、
わかりやすい情報を通じて、
投資メリットと信用を増大させる
経営をします。

社員に対しては、
仕事や会社生活を通じて、
社員が自己実現を図れる会社とする
経営をします。

当社のあゆみ

1927

1950

1980

1990

2000

2020

代表者の変遷

1927
山本秀雄
山洋商会を設立

1964
会長：山本秀雄
社長：山本浩

1986
会長：山本浩
社長：横沢新二郎

1994
社長：山本茂生

2020
会長：山本茂生
社長：児玉展全

製品の変遷

1927 電気部品の輸入販売から事業をスタート

1932
無線通信機
用電源

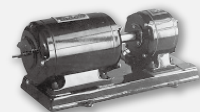


1951
手回し
発電機

1955 無停電電源装置

1995 パワーコンディショナ

1952 ACサーボモータ、DCサーボモータ



1959 ステッピングモータ

1974 アンプ・ドライバ



1965 冷却ファン

生産拠点の変遷

1944 長野県上田市に工場を開設

1990 富士山工場

1997 テクノロジーセンター

2000 SANYO DENKI PHILIPPINES, INC.

2009 神川工場

2019 テクノロジーセンター
(SANYO DENKI PHILIPPINES, INC.)

主要な 生産拠点



富士山工場



SANYO DENKI PHILIPPINES, INC.

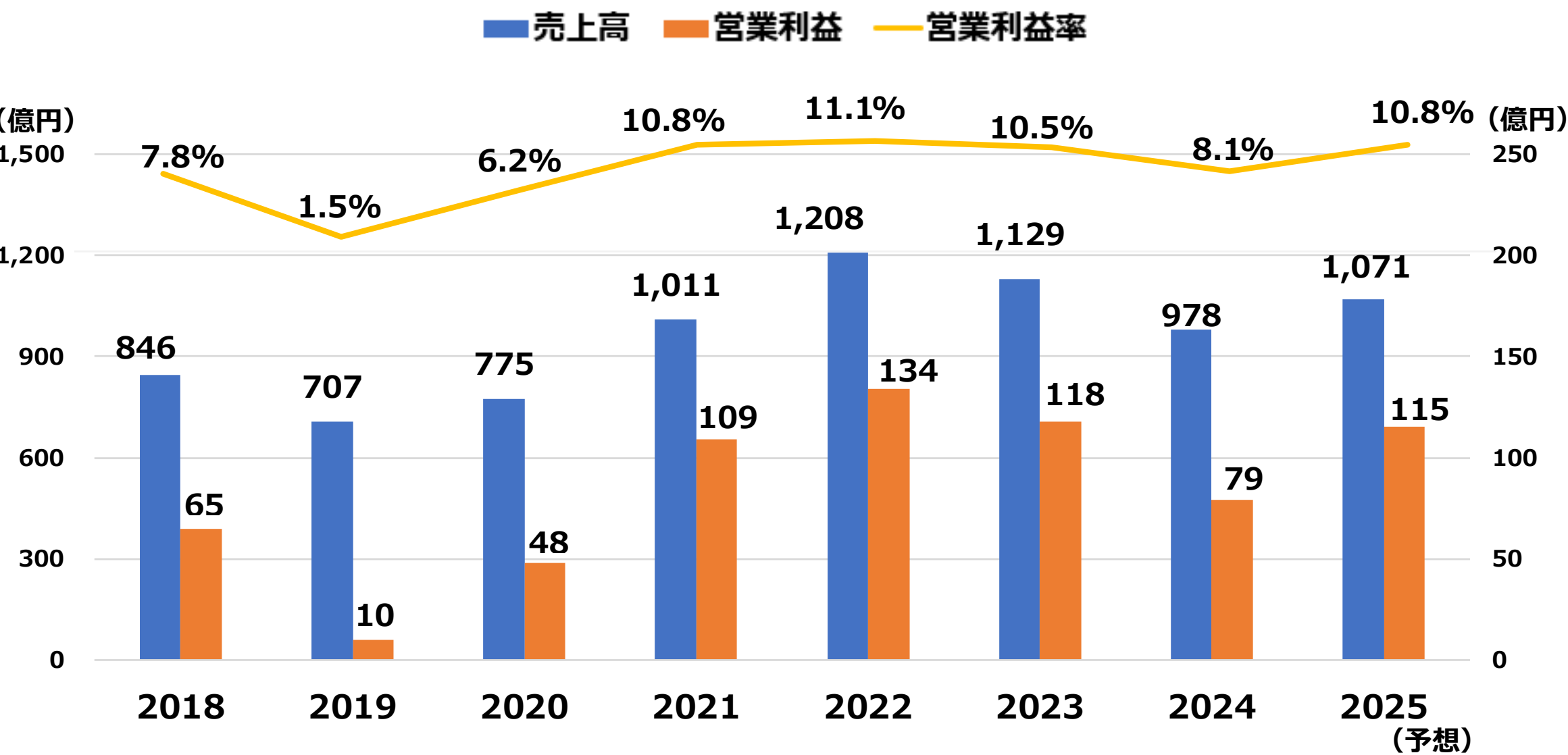


神川工場

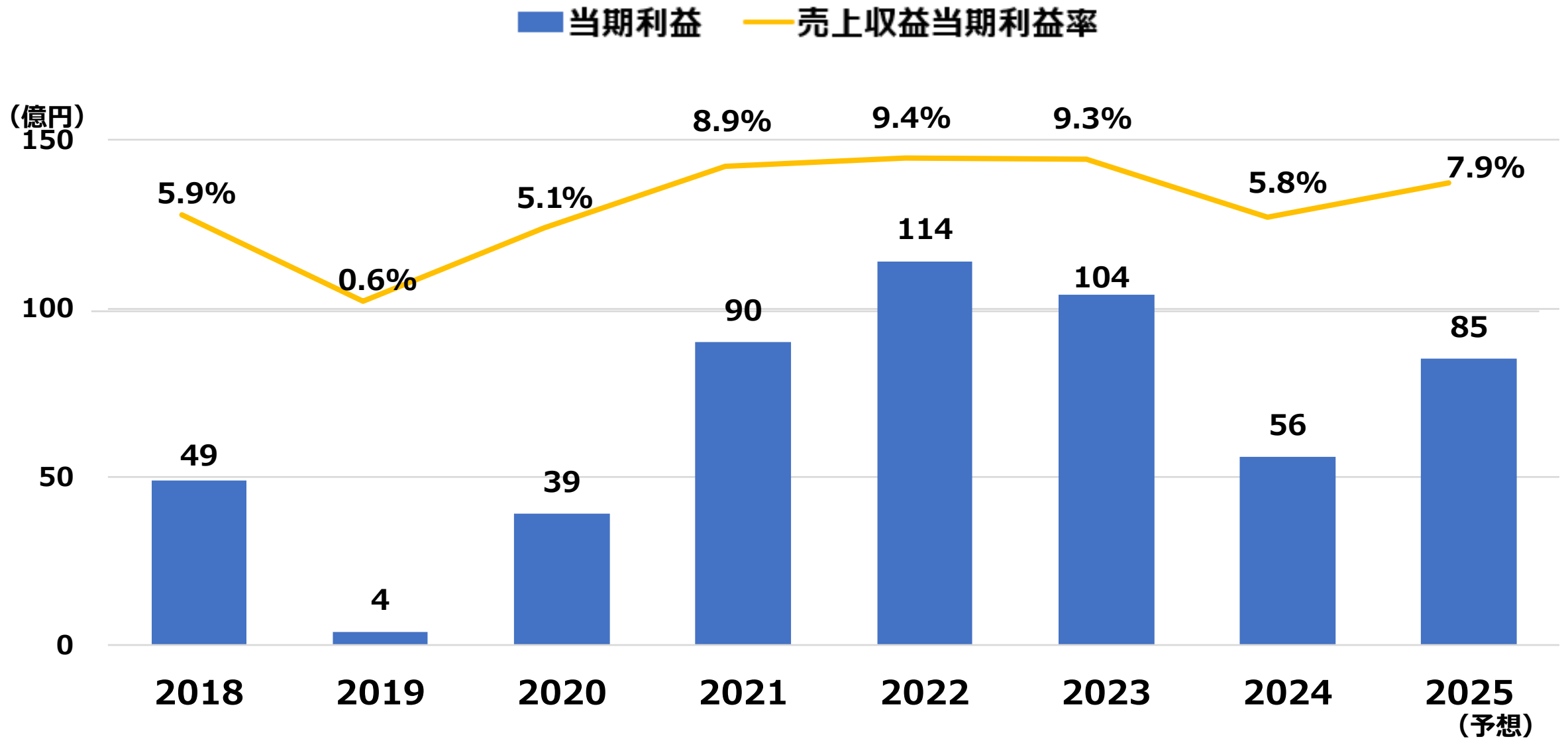
2. 事業内容

- 売上高/営業利益
- 当期利益/売上収益当期利益率
- カンパニー別業績
- 地域別売上収益
- 当社製品の紹介
- 国内事業所・支店
- グローバルネットワーク

売上高/営業利益



当期利益[※]/売上収益当期利益率



※親会社の所有に帰属する当期利益

カンパニー別業績

売上収益

978億円

(億円)

1,000

900

800

700

600

500

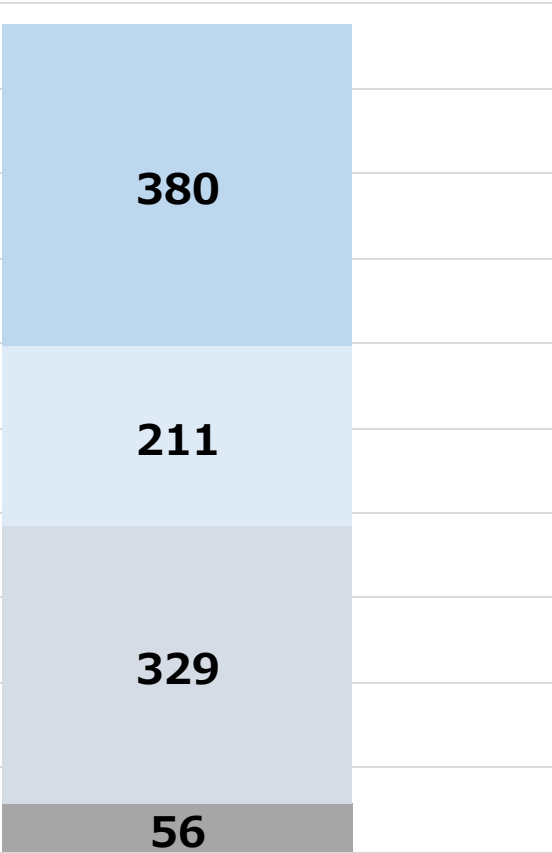
400

300

200

100

0



2024年度

■ サンエースカンパニー ■ エレクトロニクスカンパニー ■ モーションカンパニー ■ その他

セグメント利益

79億円

(億円)

80

70

60

50

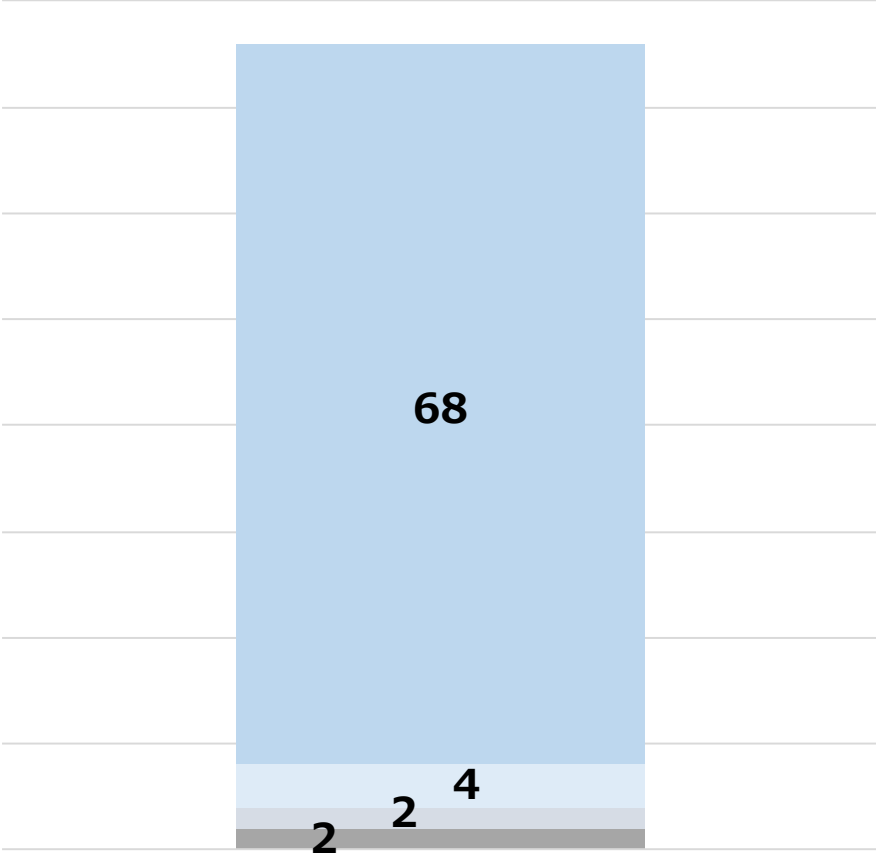
40

30

20

10

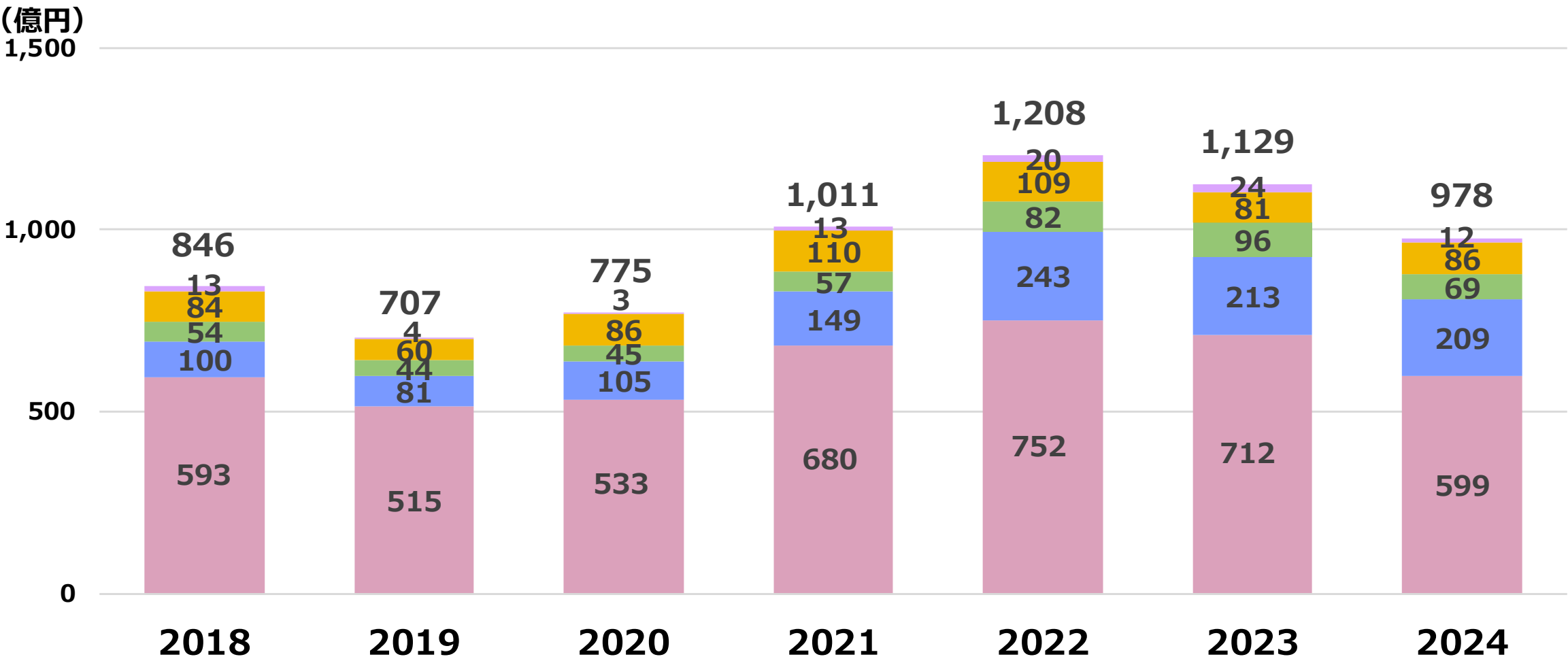
0



2024年度

地域別売上収益

■ 東南アジア ■ 東アジア ■ ヨーロッパ ■ 北米 ■ 日本国内



※セグメント間取引消去後の値を表示

当社製品の紹介

山洋電気グループは、San Ace、SANUPS、SANMOTIONの3つの製品群で社会課題の解決に真摯に向き合い続けてきました。

これからも、これまでにない製品の開発やサービスを提供していくことで、新たな価値の創出に取り組めます。



San Ace



SANUPS



SANMOTION

San Ace



San Aceの特長

San Aceは、冷却ファン、ファンユニットなどの製品を総称するブランドです。電子部品を使用している装置は、発熱への対策をしなければ、うまく機能しません。生活に欠かせないこれらの装置を安定して使用できるようにするのが、冷却ファンをはじめとした製品群のSan Aceです。業界トップクラスの性能と品質を誇り、優れた耐環境性を持つ製品を多数ラインアップしています。また、お客様の装置に合わせた最適なカスタマイズを提供します。

【当社製品ラインアップ】



■ DCファン



■ 耐久ファン



■ ACファン



■ エアフローテスター



■ PWMコントローラ



■ SanAce コントローラ



■ San Ace Clean Air

San Aceの主な用途



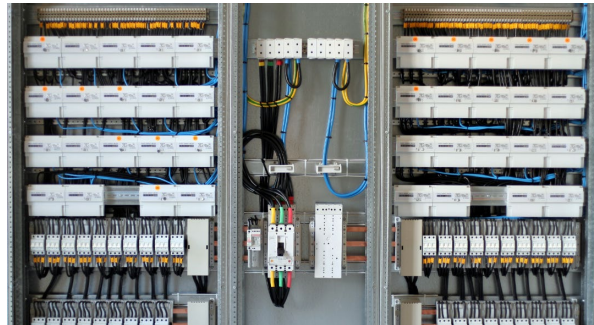
通信機



サーバ



電源（スイッチング電源）



制御機器



医療・検査・介護機器



充放電装置

SANUPS



SANUPSの特長

SANUPSは、無停電電源装置 (UPS)、インバータ、エンジン発電装置、太陽光発電システム用パワーコンディショナなどの製品を総称するブランドです。
SANUPSは、お客さまの装置に高品質で安定した電力を供給することで、通信・運輸・生産などの社会インフラを支えています。

【当社製品ラインアップ】



■ UPS (無停電電源装置)



■ パワーコンディショナ



■ グリッド管理装置



■ 瞬時電圧低下補償装置



■ インバータ



■ 無瞬断切換装置



■ 防災用ディーゼル発電装置
■ 移動電源車

SANUPSの主な用途



通信機



サーバ



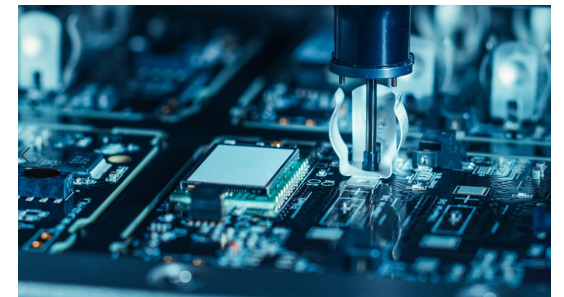
防災インフラ



太陽光発電



医療機器・病院施設



半導体製造装置

SANMOTION



SANMOTIONの特長

SANMOTIONは、サーボモータ・アンプ、ステッピングモータ・ドライバ、コントローラなどを総称するブランドです。

SANMOTIONは、生産設備をはじめとした、正確な動きが求められる用途に最適なモータです。「動かす／止める」を非常に高い精度でおこなうことで、小型・高性能化が進む各種部品を正確かつ高速に作ることに貢献します。豊富なカスタマイズ実績が強みです。

【当社製品ラインアップ】



■ ACサーボシステム



■ ステッピングシステム



■ DCサーボシステム

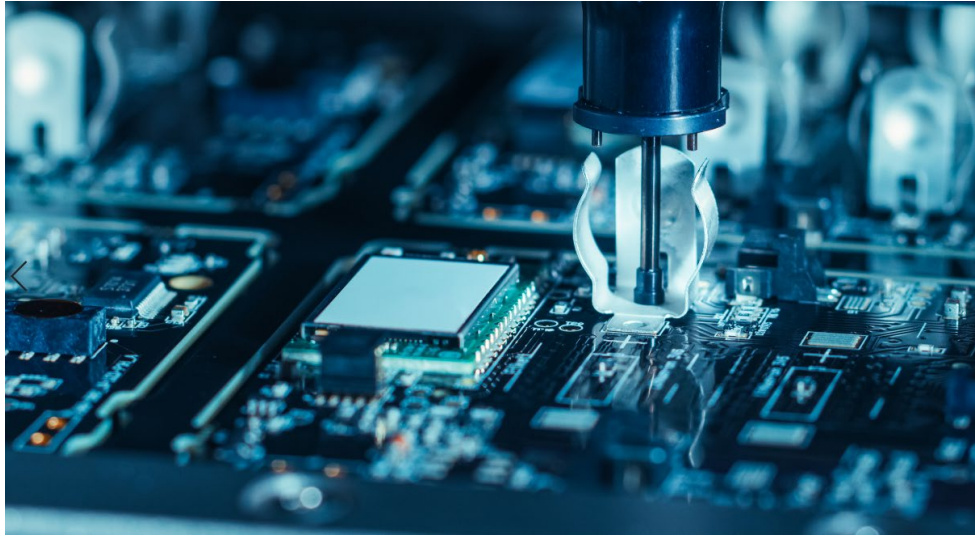


■ モーションコントローラ



■ リニアサーボシステム

SANMOTIONの主な用途



半導体製造装置



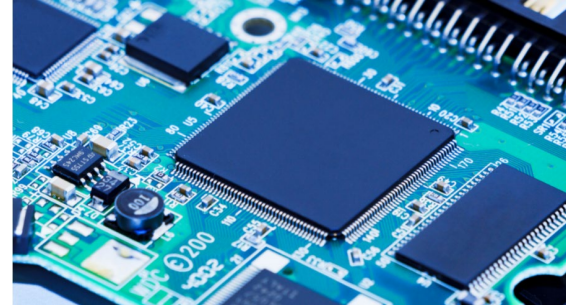
工作機械



ロボット



射出成型機



実装機（マウンタ、ボンダー）



板金加工機械

その他の事業

- 電気機器販売事業
- 電気工事事業

電気機器販売事業

電気機器販売事業は、産業用電気機器、制御機器、電気材料などの電気機器の販売をおこなう事業です。

お客さまの課題の解決をするために、電子・電気機器専門商社の知識と技術力を活かし、多彩なメーカーの豊富な取扱商品からお客さまに最適な商品をスピーディに提供しています。

電気工事事業

電気工事事業は、産業用制御システムの企画・設計・施工・メンテナンスをおこなう事業です。

産業用制御システムの工程のすべてを手掛けることで、お客さまに最適なエンジニアリングサービスを提供しています。

電子・電気機器の専門商社の知識とシステムエンジニアの技術力を活かした、効果的なワンストップサービスを実現しています。

事業所・支店 | 日本

上田事業所

生産拠点

神川工場

[主要製品]



モータ



富士山工場

[主要製品]



ファン



San Ace
オプション



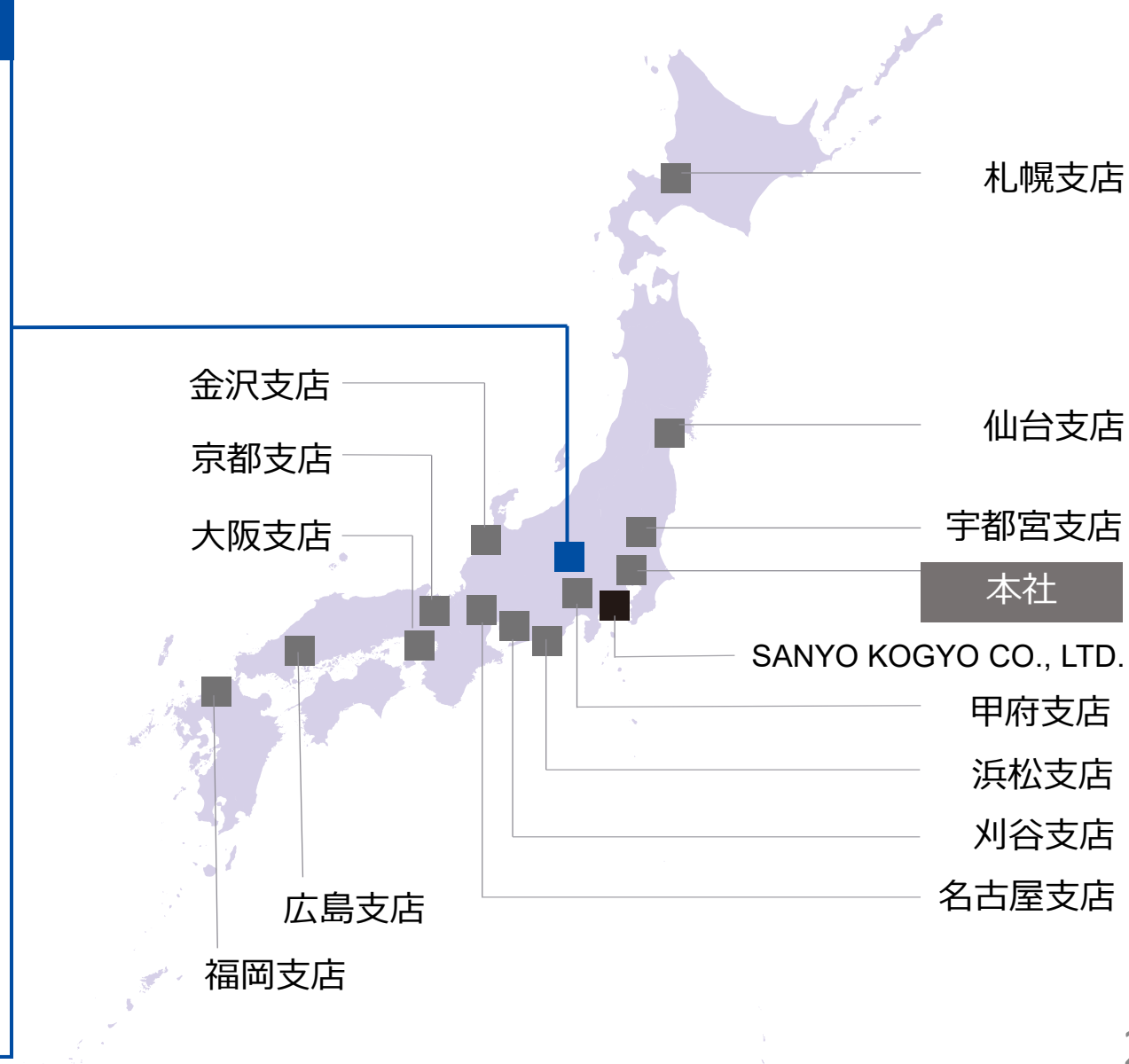
パワー
コンディショナ



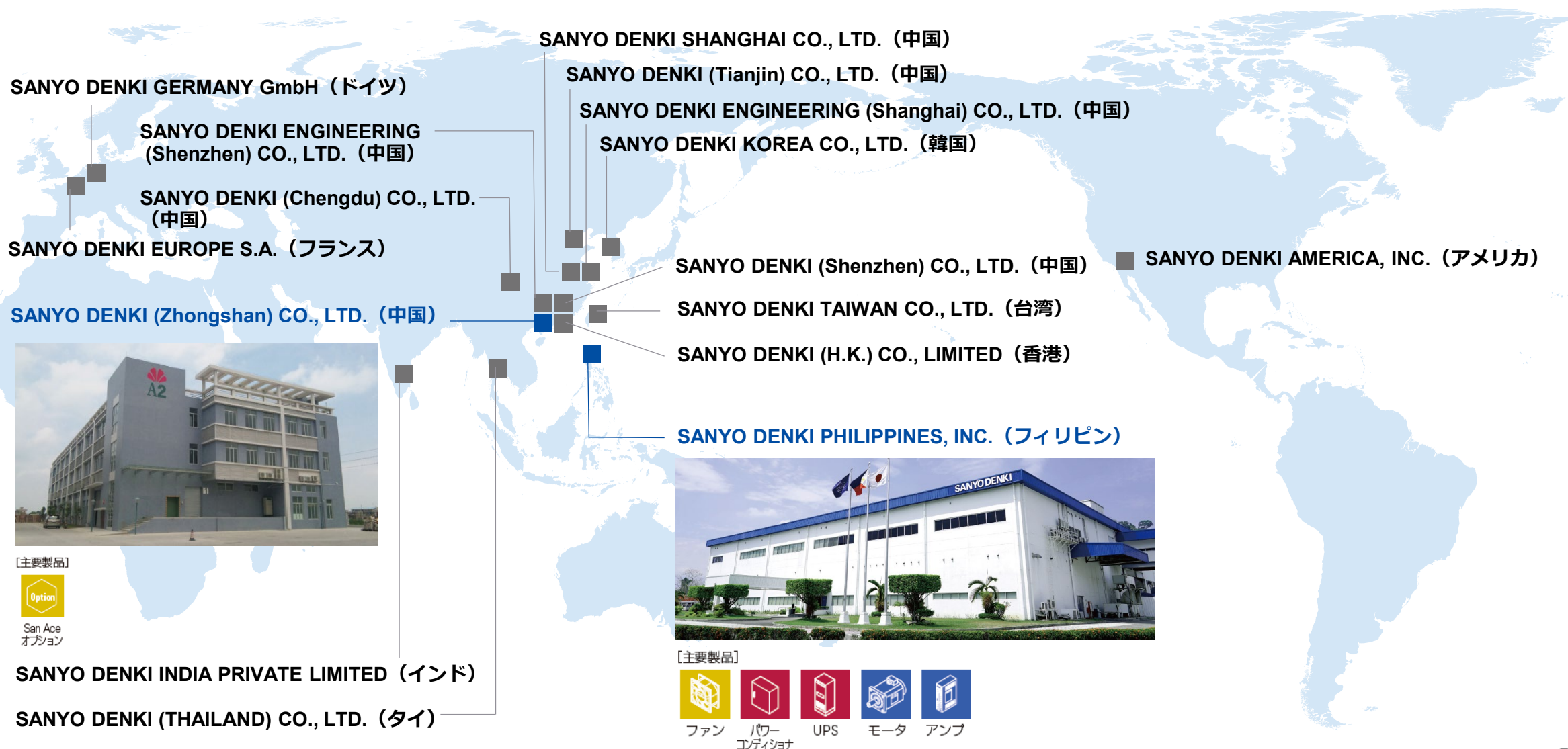
UPS



築地工場



グローバルネットワーク



3.サステナビリティ

- カーボンニュートラルの推進
 - ① 気候変動への取り組み
 - ② 環境適合設計の取り組み
- 健康経営

カーボンニュートラルの推進

①気候変動への取り組み

カーボンニュートラル実現に向けたCO₂排出量削減の 中長期目標を策定

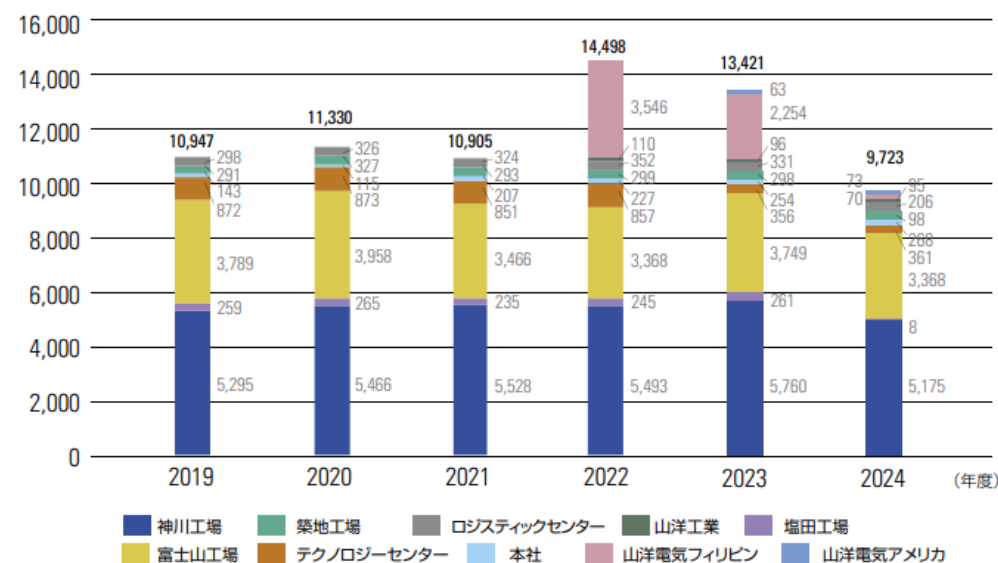
気候変動に対する取り組みの一環として、
当社グループのCO₂排出量を2030年度に
46%削減(2017年度比)、2050年度までに
実質ゼロとする中長期目標を策定しました。

CO₂排出量削減目標※(基準年度:2017年度)

2030年度目標	46%削減
2050年度目標	カーボンニュートラル達成

※山洋電気株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社、山洋電気ITソリューション株式会社を対象。CO₂排出量であるScope 1(自社によるCO₂の直接排出)、Scope 2(他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出)が対象。

(t-CO₂) 拠点別CO₂排出量



注：2021年度からScopeによるCO₂排出量とする。

対象拠点：国内全拠点、2022年度より山洋工業、山洋電気フィリピンを追加。2023年度より山洋電気アメリカを追加。

カーボンニュートラルの推進

②環境適合設計の取り組み

環境適合設計製品「エコプロダクツ」

当社では既存製品や従来の市場製品と比較し、
自社基準に基づいて環境負荷が小さいと認められた
製品を「環境適合設計製品（エコプロダクツ）」
として認定しています。
2024年度より、エコプロダクツの認定基準より
さらに環境負荷の低減効果が大きい製品を
「エコプロダクツプラス」として認定し、
より高いレベルでの環境負荷の低減を目指しています。

今後も製品ラインアップの拡充と販売拡大を通じて、
サプライチェーン全体の環境負荷低減に貢献して
まいります。



二重反転ファン San Ace 80 9CRHタイプ

健康経営

2025年3月、山洋電気株式会社および山洋電気テクノサービス株式会社は、経済産業省と日本健康会議が主催する健康経営優良法人認定制度※において、「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）～ホワイト500～」に認定されました。健康経営優良法人には2022年以降、4年連続4度目の認定、その内、評価の高い上位500法人が認定される「ホワイト500」には、2023年度に続き2度目の認定です。

山洋電気グループ 健康経営宣言

私たち山洋電気グループは、グループ一体となり、社員が心身の健康を維持・増進できる職場づくりと健康促進活動に取り組めます。
また、創業以来、長年培ってきた技術と製品によって、山洋電気グループに関わるみなさまの健康づくりに役立てるよう、社会に貢献してまいります。

山洋電気株式会社
代表取締役会長
健康経営委員会委員長 山本 茂生



※健康経営優良法人認定制度

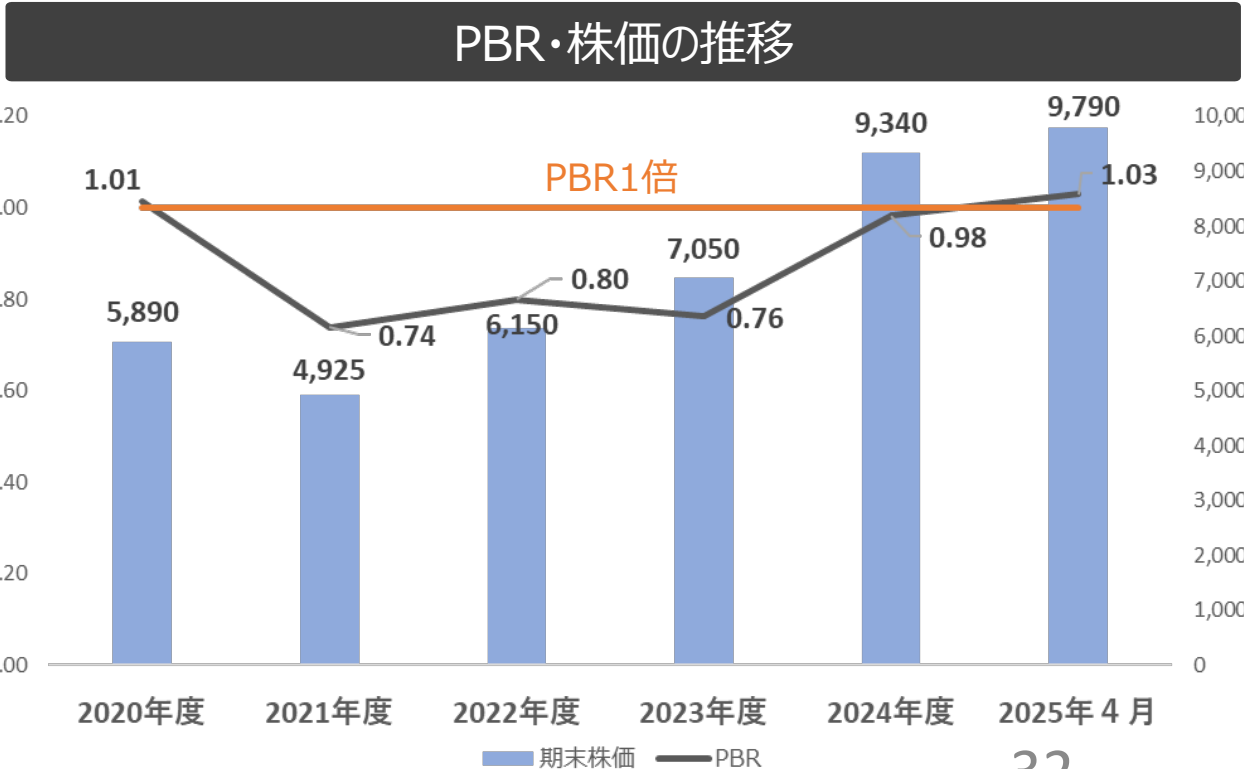
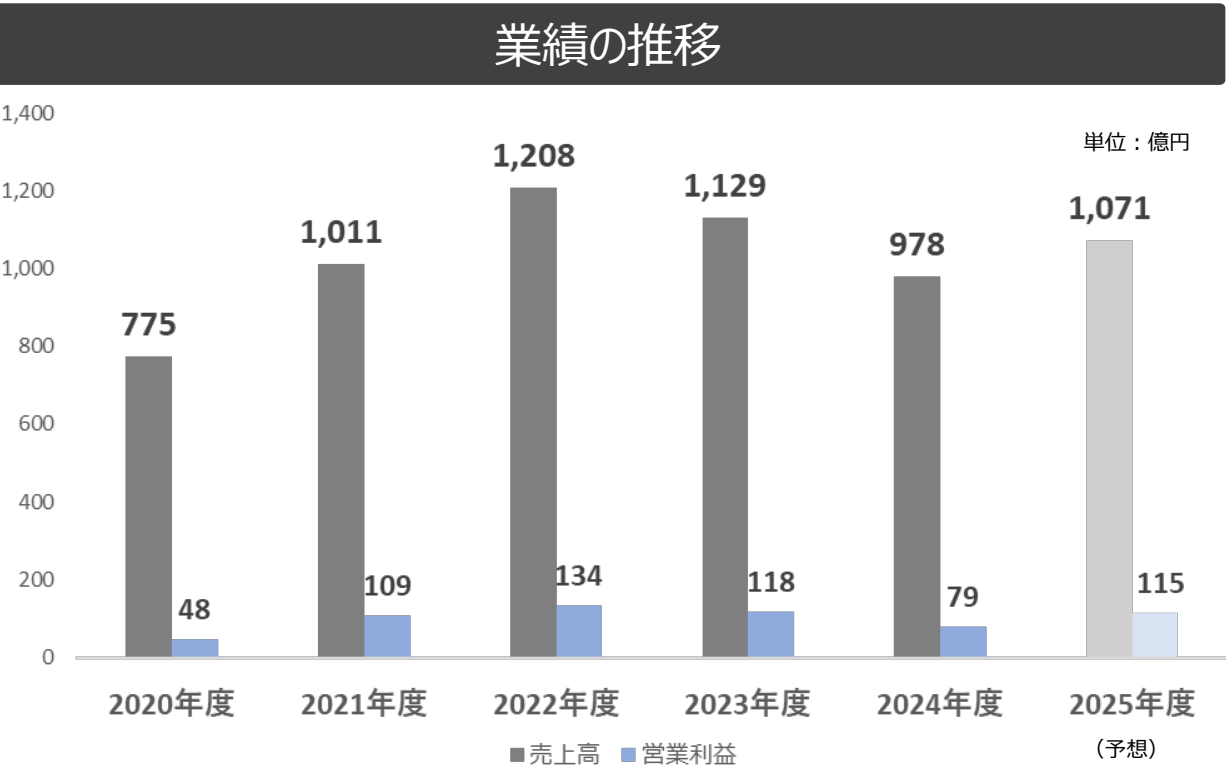
地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度。

Appendix

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた取り組みについて

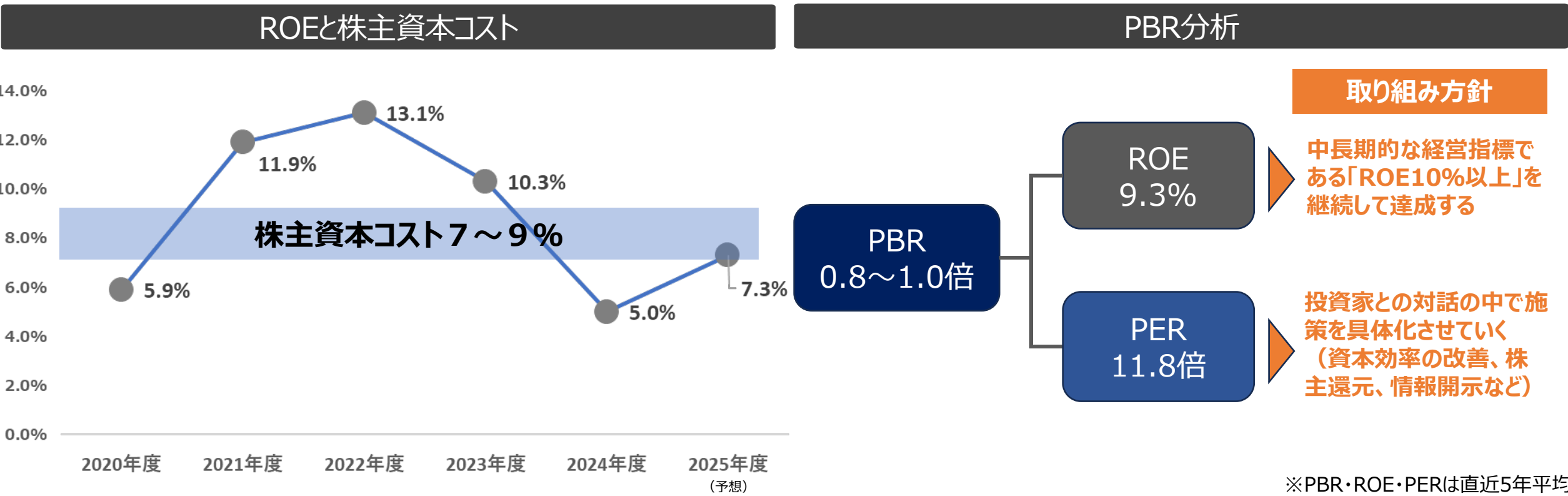
1. 企業価値向上に向けた現状分析 業績とPBRの推移

- 2022年度に過去最高の売上、利益を達成。IT・通信、半導体、自動化投資等の市場が拡大。
- AI関連市場を中心に活発な需要が発生。今期からは再び成長基調に。
- 好調な事業成長の一方で、PBRは0.8～1.0倍前後の推移に留まっている。
- 株価も上昇傾向にはあるが、長年に渡り割安な水準で推移している。



1. 企業価値向上に向けた現状分析 ROEと株主資本コスト

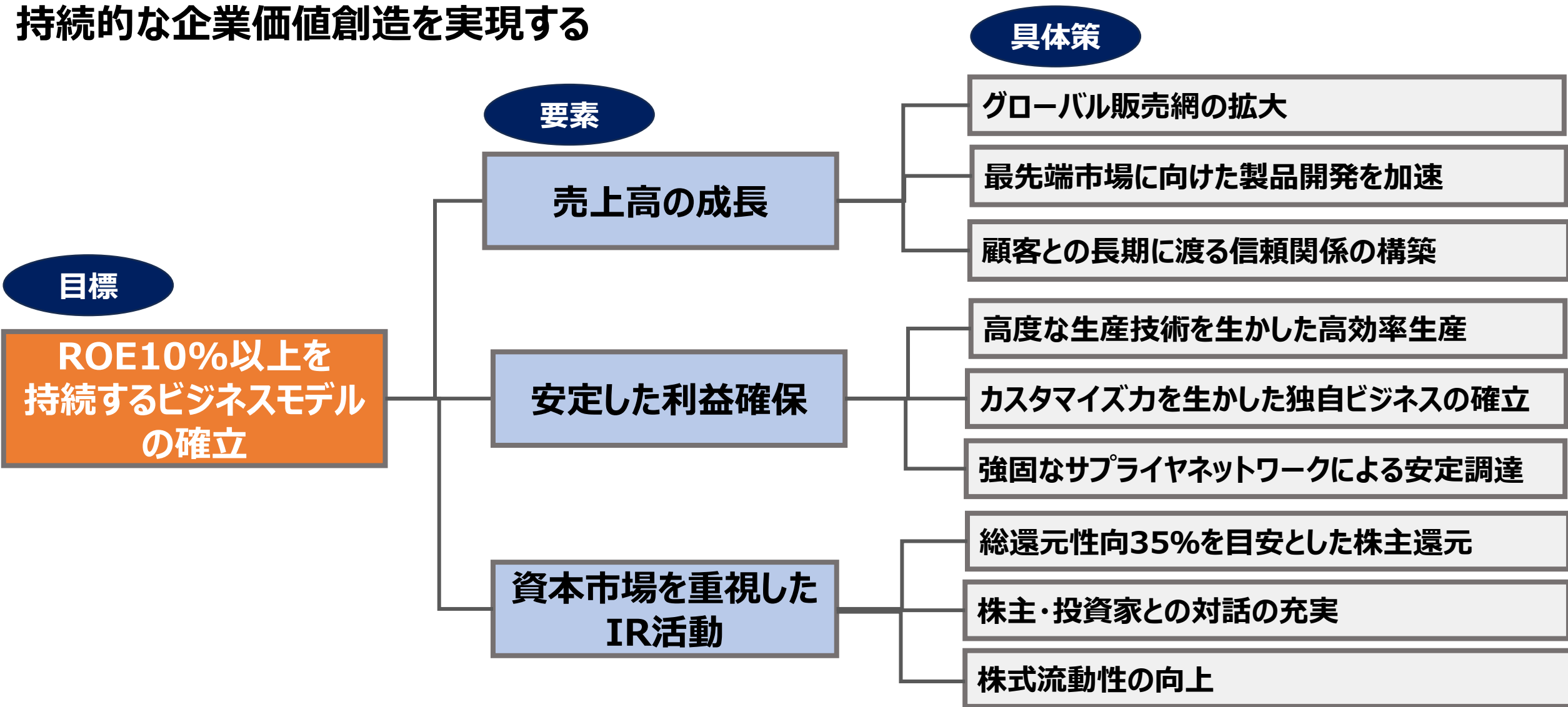
- 経営指標は「ROE10%以上」、株主資本コストは7～9%を想定。
- 直近5年間のROE平均は9.3%、株主資本コストを上回る水準で推移。
- 「稼ぐ力（ROE）×投資家期待（PER）」の向上に取り組む
 - ✓ ROE10%以上を維持する高付加価値ビジネス
 - ✓ 株主・投資家からの期待向上



※PBR・ROE・PERは直近5年平均

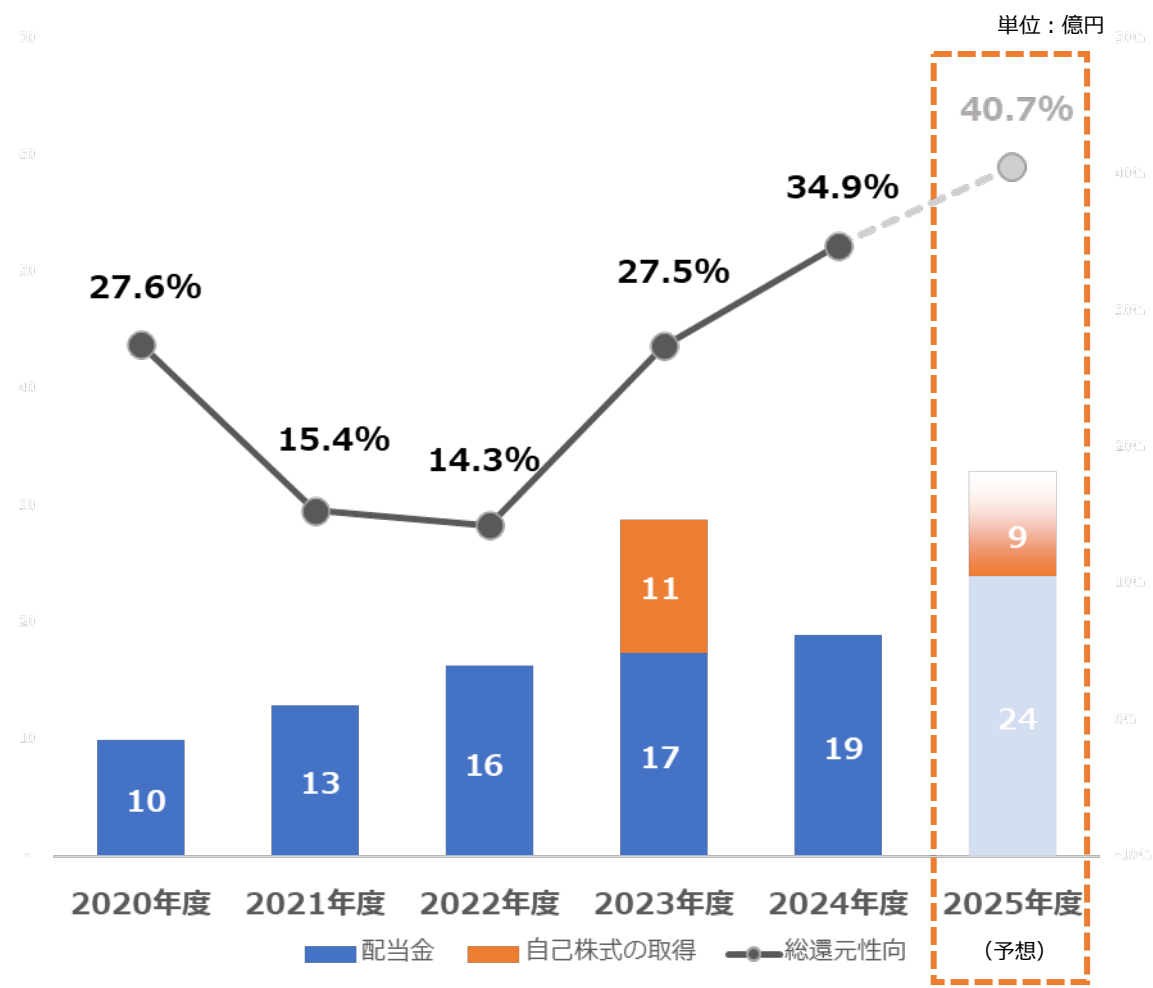
2.企業価値向上に向けた今後の取り組み 成長戦略

「売上高の成長×安定した利益確保×資本市場を重視したIR活動」により、
持続的な企業価値創造を実現する



2. 企業価値向上に向けた今後の取り組み 株主還元の方針

総還元性向35%（業績に応じた配当＋機動的な資本政策）を目安



株主還元の方針

**総還元性向
35%目安**

業績に応じた配当
＋
機動的な資本政策
(自己株式の取得など)

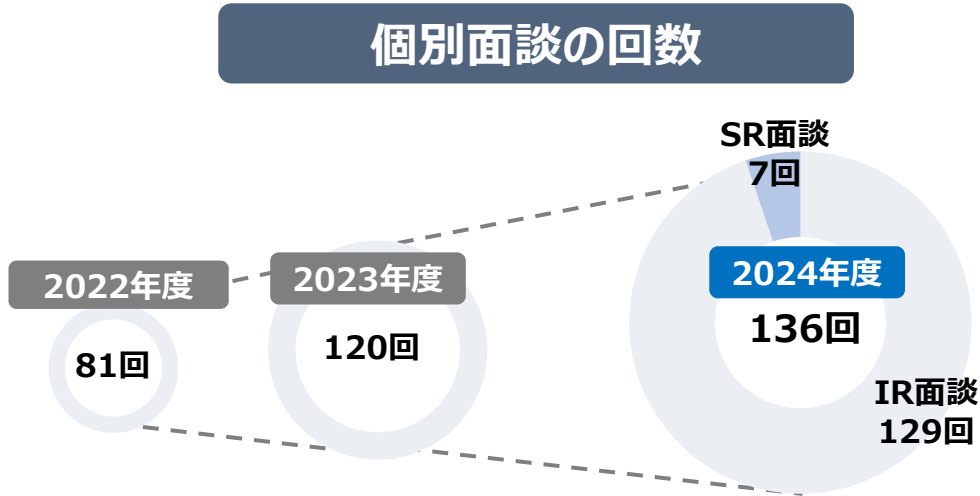
2025年度予想

配当性向
約30%
＋
機動的な
自己株買い

2.企業価値向上に向けた今後の取り組み 株主・投資家との対話

株主・投資家との対話機会を増やし、山洋電気を正しく理解いただく

投資家向けイベントの実績			
	2022年度	2023年度	2024年度
決算説明会	2回	2回	2回
スモールミーティング	1回	0回	1回
工場見学	0回	1回	1回



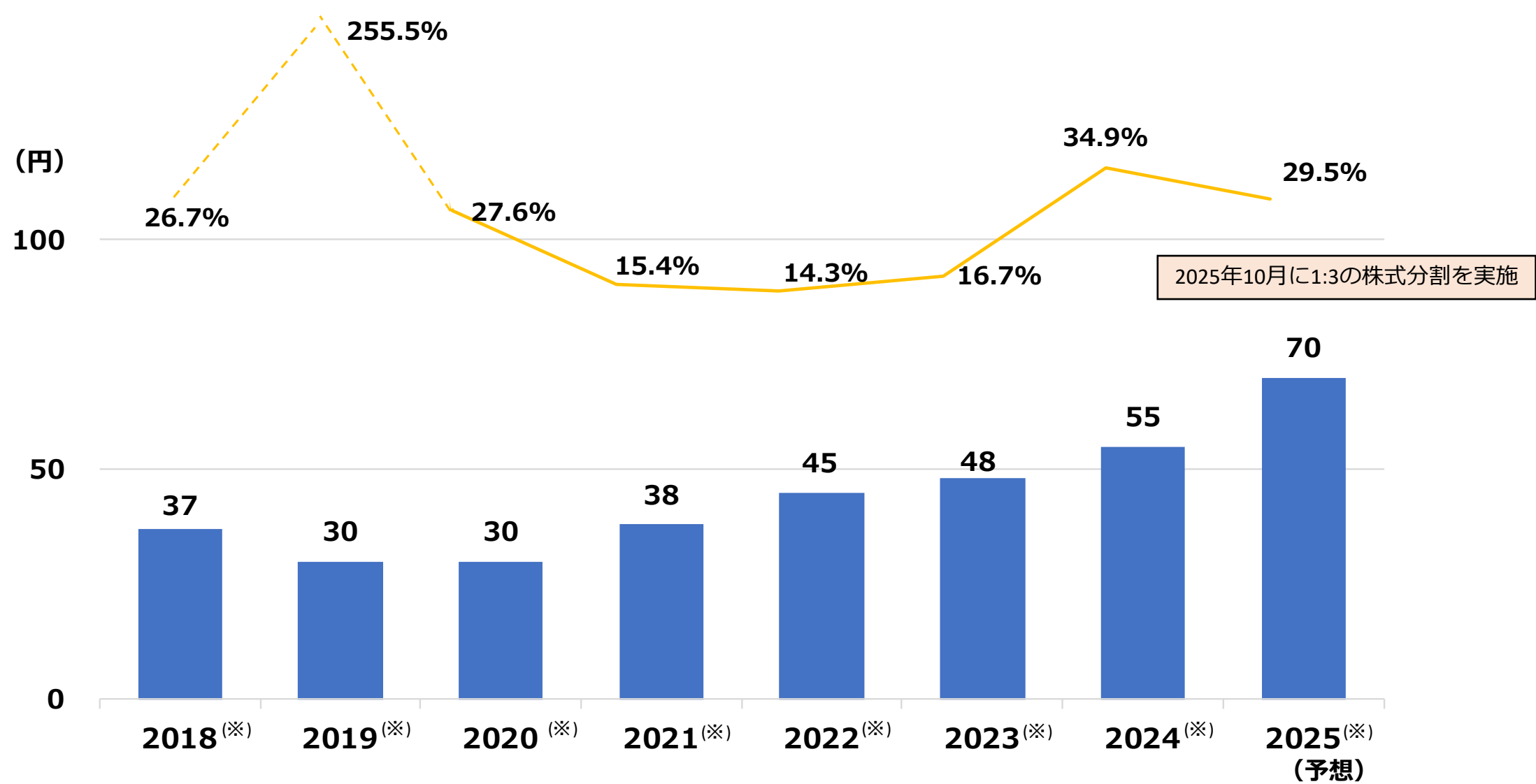
株主・投資家との対話

- 株主懇談会
- 工場見学会
- バーチャルコミュニティ



理解をより深く

株主還元（配当金推移）



※2025年10月1日付で、普通株式1株を3株に分割しています。
これに伴い、2018年度の期首に当該分割がおこなわれたと仮定し、算定しています。

ファンの基礎知識

詳しくは、
当社製品・技術情報サイト
「[TECH COMPASS](#)」へ！



✓冷却ファンとは？

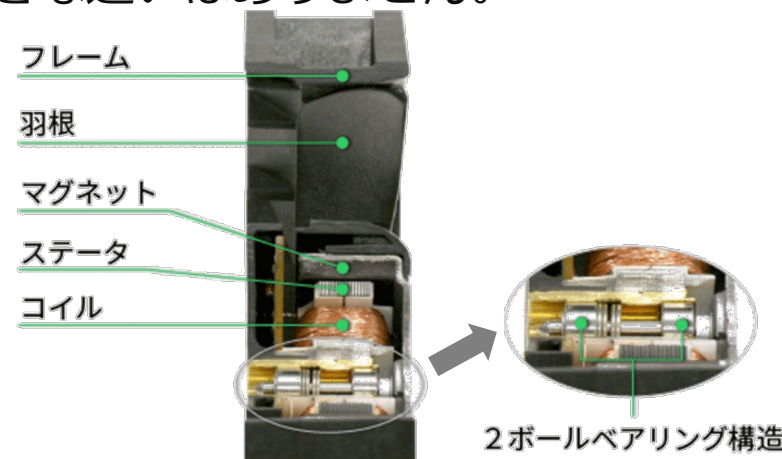
「冷却ファン」とは、装置のなかに設置され、装置を冷やすファンです。
近年では、冷却ファンを換気や空気の循環など、冷やす以外の用途でも増えています。

✓冷却ファンの種類は？

ファンの種類は入力電源とファンの形状で分けることが多いです。
入力電源では交流のAC電源と直流のDC電源の2種類あり、一般的にACファンとDCファンと呼ばれます。
ファンの形状で分ける場合は大きく分けて、軸流ファン・遠心ファン・ブロアの3つになります。
メーカーによって、呼び方が異なる場合もありますが、分け方に大きな違いはありません。

✓冷却ファンの構造は？

冷却ファンは基本的に図1のような部品構成ですが、
そのなかでも特に重要なのが「ボールベアリング」です。
山洋電気では全機種2ボールベアリング構造を採用しています。
これにより、軸受荷重の低減につながり、
ファンの信頼性や寿命を向上することができます。



▲図1：ファンの断面図

UPS（無停電電源装置）の基礎知識

詳しくは、
当社製品・技術情報サイト
「[TECH COMPASS](#)」へ！



✓UPS（無停電電源装置）とは？

UPS（無停電電源装置）とは、停電が起きてしまったときに電気を一定時間供給し続けるための装置です。英語では「UPS（Uninterruptible Power Supply）」と呼ばれています。

このUPS（無停電電源装置）があることでパソコンやハードディスク、サーバ、モデム、ルータなどを予期せぬ停電から守ることができ、ひいては重要なデータや製造機器も守ることができます。

✓UPS（無停電電源装置）の仕組みは？

UPS（無停電電源装置）の仕組みは、オフィスや家庭にある「延長コード」と似ています。

延長コードは壁の電源につないだコードの先に複数の差し込み口がついており、そこにつないだ機器に電気を送るものです。UPS（無停電電源装置）は、この延長コードに蓄電機能が備わったものだと考えるとわかりやすいです。

まずは、電源からUPS（無停電電源装置）に送電。その先にある機器にはストレートに電気を流し、それと同時にUPS（無停電電源装置）内の蓄電池に電気を蓄えます。そして停電などの非常時には、蓄電池から各機器に給電。これによって一瞬も止めることなく、電気を供給し続けられるのです。



✓モータとは？

モータとは、電気の力から機械的な力を生み出す機器です。洗濯機や扇風機、エアコンなどの家電製品から、ATM（現金自動預け払い機）や自動改札などの社会的なインフラに関わるものまで、ありとあらゆる“動くもの”に利用されています。機械的な力を生み出す動力源には、モータのほかにもエンジンや蒸気機関などがあります。しかし、モータには他の動力源にはない3つの特長があります。

1. エネルギー変換効率が高い

一般的なエンジンの熱効率は30～40%といわれています。これは投入したエネルギーの30～40%しか動力にならず、残りの60～70%は熱として捨てられていることを示しています。一方、モータのエネルギー変換効率は80%以上です。モータはエンジンと比べてエネルギーを無駄にすることなく、動力に変えられるのです。

2. 構造がシンプルで制御しやすい

エンジンは多くの機械部品から構成されており、それぞれの部品も精度よく作る必要があります。また、エンジンを電子制御するためには多くのセンサを使うので、制御が複雑になります。エンジンに比べると、モータは構造がシンプルであり、直接電気で動かすことができることから、電気できめ細かく制御することに適しています。

3. クリーンである

エンジンはガソリンを燃やして動力に変換するため、二酸化炭素（CO₂）が排出されます。それに対して、モータはそれ自体からガスが排出されることはありません。

リンク集

[IR情報トップページ](https://www.sanyodenki.co.jp/ir/index.html) <https://www.sanyodenki.co.jp/ir/index.html>

- [決算説明会資料 スモールミーティング資料](https://www.sanyodenki.co.jp/ir/events/fr_presentation.html)

https://www.sanyodenki.co.jp/ir/events/fr_presentation.html

- [統合報告書](https://www.sanyodenki.co.jp/ir/library/integrated.html) <https://www.sanyodenki.co.jp/ir/library/integrated.html>

- [環境・社会への取り組み](https://www.sanyodenki.co.jp/corporate/environmental_social/index.html)

https://www.sanyodenki.co.jp/corporate/environmental_social/index.html

- [環境データブック](https://www.sanyodenki.co.jp/corporate/environmental_social/data.html) https://www.sanyodenki.co.jp/corporate/environmental_social/data.html

山洋電気株式会社 インベスターズガイド

本資料に掲載のあらゆる情報は山洋電気株式会社に帰属しております。

手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による許諾なしに、複製・変更・転載などをおこなわないようお願いいたします。

お問い合わせ先 山洋電気株式会社 経営企画部 ir_info@sanyodenki.com